

日本共産党 前杉並区議会議員

X(旧 Twitter) ID: @akikocurry



の がき  
**野垣あきこ**とまちづくりカフェ

2025 年3月号

連絡先 090-9293-8710 ご相談どうぞ!

子ども・くらし・平和



## 旧若杉小跡地の本格活用 オープンハウスを開催予定



杉並区は、区立施設マネジメント計画に基づき、旧若杉小跡地の本格活用について、住民とワークショップを行ってきました。

### 区立施設の活用を住民とともに

ワークショップは昨年11月から2月まで計4回行われました。

第1回目は、既存校舎の解体を前提に跡地活用を検討することを報告。参加者は暫定活用している施設や未利用部分、雨漏り等の老朽化の状況などを見学しました。

第2回目では、地域の課題として荻窪消防署天沼出張所の老朽化の状況を報告。近隣の天沼小・天沼中の児童・生徒が考える活用方法、区として考えられる活用方法について情報提供がありました。後半は他自治体の事例紹介などを踏まえ、各グループでアイデアを出し合いました。

第3回目は、第2回で活用アイデアが近い参加者ごとにグループに分かれ、意見交

換しました。個別のアイデアを出し切って、グループで大切にしたいことを確認し、後半はアイデアを統合して、跡地活用全体のコンセプト案を検討しました。

第4回では、第3回で検討したコンセプトや将来像を基に、これまで出た活用アイデアを具体化し、グループ毎にワークシートを作成しました。

ワークショップの様子は下の区HPにも掲載されていますが、幅広く周知するため、オープンハウスを開催します。

### その後のスケジュール

今回ワークショップで検討した内容等を基に、区が活用に関する基本方針・基本計画を策定します。その際、適宜、オープンハウス形式の地域意見交換会等を開催するなど、幅広く意見を聞きながら取り組んでいきます。

令和8年度以降は策定した計画に基づき、具体的な取組を実施する予定です。



#### オープンハウスの日程

3/28(金)16~20時

旧若杉小学校体育館

3/29(土)10~16時

タウンセブン荻窪北口広場

## 杉並区議会第一回定例会

## 教員不足解消と不登校支援について 党区議団が質問

2月17日、党区議団は教育について一般質問し、区の認識を問いました。

### 教員の労働実態改善、不登校支援を

教員不足は深刻な問題です。国は、学習指導要領の改訂で授業時間数を増やした一方、教員の基礎定数を増やさず、教員の負担が増大。長時間労働が続いています。

病気休職者も増えています。公立学校の「精神疾患による病休者」は7千人を超え、1990年の約7倍です。杉並区では、昨年12月31日時点で、小学校で17名、中学校で4名の教員が精神疾患を理由に休職しています。

教員たちは「子どもたちとゆっくり向き合うゆとりを」「好きなだけ授業準備をする時間を」、とにかく先生を増やして、と深刻な現状の改善を訴えています。

国は「公立教員給与特別措置法」で、教員を残業代制度から外し、「定額働かせ放題」を放置してきました。残業代ゼロ制度を廃止し、事業数に見合った教員定数を増やすことが必要です。また、少人数学級の実現や子どもの意見表明権を尊重する上でも、まったなしの課題となっています。

党区議団の小池めぐみ議員は、教員の過酷な労働条件や長時間労働の解消と丁寧な不登校支援を進めるために、区が行うべきことを求めて質問しました。

### アンケートで現場の声を

長時間労働の原因、負担となる業務や悩みを明らかにし、対策を強化するためのアンケートの実施を求めました。区は、教職員アンケートの実施について検討していく、と答弁しました。

また、教員が休職した際に代替の教員を確保する副校長の業務負担が増大しています。現在、支援員は都費で

5名、区費で11名いますが、より多くの配置を、と求めました。

### 不登校は11年連続で過去最多

文科省によると、2023年度の全国の不登校の小中学生は34万6482人で、11年連続で過去最多となっています。

質問では、不登校の相談窓口や支援をまとめたハンドブックを作成し、就学前から案内してはどうかと提案すると、区は効果的な周知方法について考えていく、と答弁しました。

### 不登校の保護者への支援も

不登校の子どもたちだけでなく、保護者への支援として、懇談会や進路説明会などを開催するよう求めました。区は、懇談会等の次年度の開催に向け、不登校支援団体と連携して準備を進めていく、と答弁しました。

校内別室支援事業のボランティア確保や周知の状況について質すと、区は、人材の確保が難しい学校があったこと、大学等に声をかけ人材確保を支援すること、区HPで周知をはかる、と答弁しました。

質問の動画は、杉並区議会HPにアップされています。右の二次元コードからアクセスしてご覧ください。



## 原田都議と党区議団が都営住宅の増設・戸数増を要望



1月24日、党杉並区議団は、原田あきと都議とともに、東京都住宅局の担当者と面談し、都営住宅の増設を要望しました。

### 杉並の供給率は23区中19位と低く

面談では、まず杉並区の住宅をめぐる現状を伝えました。

- ①杉並区は持ち家世帯の割合が低く（借家比率が高い）、借家のうち「民間借家」の割合が23区平均より高い。
- ②公営住宅（都営・区営）の人口あたりの供給率が23区中19位。総世帯に占める供給率も同じく19位で、区部平均の3分の1。
- ③2015～2024年で、世帯数が2万7398世帯増加しているにも関わらず、公営住宅の合計数は87戸減少。

### 杉並区の都営・区営住宅

- ・供給戸数 3,973戸
- ・総世帯に占める供給率 2.1%
- 23区中19位 区部平均7%
- 1位 江東区 18.3%
- 2位 北区 16.2%
- 3位 足立区 15.2%
- 杉並区の公営住宅は少なすぎる！

### 単身世帯用を増やすとの方向

次に、党区議団のアンケートに寄せられた公営住宅の増設を求める声を紹介し、①都営住宅の増設、②区内都営住宅の建て替え等を機に戸数を増設すること、③杉並区における区営住宅、高齢者借上げ住宅増設への支援、の3項目を要望しました。

都の担当者は「供給数について、地域によって偏在があることは認識している」としつつ、「都営住宅は現状で充足しており、増やす考えはない」との認識でした。

建て替えの際の戸数増については「従前の戸数は維持する。なるべく単身世帯を増やしていく方向」「事業用住戸（建て替えに伴う一時的移転先）は必要以上に持たないようにしている」との回答でした。引き続き、公営住宅の整備等、住宅施策の拡充を求め、全力を尽くします。

都営住宅に入居を希望、もしくはこれから申し込みたいという方は、ぜひ党都議団のアンケートにご協力ください。右の二次元コードから回答できますので、よろしくをお願いします。



### アンケートに寄せられた声

- ・年をとっているので住む部屋がない。都営住宅に入りたい。家賃のために働いているみたい。（80代）
- ・公営住宅に入居したいのですが…。家賃が少ないところで生活できると安心ですが入居できずそれが一番の不安。（70代）
- ・困っていること一家賃の負担 希望一都営住宅の増設。（80代 自営業夫婦）

## 田中議員のハラスメント 超党派21名で懲罰動議提出

2月19日、田中ゆうたろう議員（杉並をセンタク致し候）が本会議の一般質問中に、壇上で大声を上げ、机を叩いて大きな音を出すなど、理事者を威嚇する行為がありました。

### 杉並区議会の秩序と品位を守れ

田中議員は、教育問題について一般質問をしている最中、教育長らの席を向いて右手を振り上げ、演台を強く叩き「ふざけるなどと言っておきます」と発言。当然のことながら、区議会議員としてあるまじき行為であり、ハラスメントに値するものです。議場や傍聴者からも抗議や非難の声が上がり、議事は中断に追い込まれました。

議事再開後、議長は田中議員に注意をしました。これまでも田中議員は誹謗中傷や侮辱など様々な発言で注意を受けていますが、全く改善されていません。

岸本区長は、答弁の前に田中議員に対し、「（傍聴者などが）大きな衝撃と恐怖を感じたのではないかと」きっぱり抗議しました。

### 杉並区議会史上で初の懲罰動議

21日、党区議団をはじめとする超党派の21名の議員（共産、立憲、維新・無所属、ネットなど）は、連名で田中議員に対する懲罰動議を議長に提出しました。



◀田中議員が議場で暴言・威嚇する様子の動画（党区議団小池めぐみ議員のXの投稿より）

杉並区議会では懲罰動議が出されることは今回が初めてで、今後、懲罰に関する特別委員会の設置に向け協議が行われます。

懲罰には戒告、陳謝、出席停止、除名（最も重い）があります。

### 市民の反応 マスコミ報道も

SNSでは、市民から「毅然とした区長の対応、本当に涙が出るほどうれしいです！」「懲罰動議を支持します」などのコメントが飛び交っていました。

新聞では赤旗と東京が報道。朝日、毎日、読売、共同通信なども取材をしています。

議会や区だけでなく、住民とも力を合わせて、あらゆるハラスメントを許さない社会を目指して全力を尽くします。

### 【あきらの部屋】

先週は下石神井にあるいわさきちひろ美術館へ。至光社によるちひろの原画と西巻芽子さんの特別展を見ました。「わたしのワンピース」は阿佐ヶ谷保育園では子どもにも職員にも大人気の絵本でした。「ボタンのくに」という作品は知らなかったのですが、大人には絶対に描けない世界観が素晴らしいすぎて脱帽状態。西巻さんは大人になってから描いているのですが、人間の才能ってすごい！と感じました。ちひろ美術館では、憲法カードやウクライナ戦争に反対するステッカー（バナー）も作っています。とても風の強い日でしたが、自転車で行ったので、たまにはよい運動になったかな？と思いました。

